

届書コード	処理区分	届書
2 6 8		

事務センター長 所 長	副事務センター長 副 所 長	グループ長 課 長	担 当 者

厚生年金保険 養育期間標準報酬月額特例終了届

①事業所整理記号	②被保険者整理番号	⑦年金手帳の基礎年金番号		①被保険者の氏名		⑧性別 男 1 女 2	③被保険者の生年月日						
				(フリガナ) (氏)	(名)		明 1 大 3 昭 5 平 7	年	月	日			
④養育する子の氏名		⑤養育する子の生年月日		⑥養育特例開始年月日		送 信	⑦養育特例終了年月日			送 信	備 考		
(フリガナ) (氏)	(名)	平成	年	月	日		平成 7	年	月			日	平成 7

◎記入の方法は裏面に書いてありますのでご覧ください。
※「印欄」は記入しないでください。

社会保険労務士の提出代行者印	
	印

受付日付印

平成 年 月 日に被保険者から届出を受理しましたので提出します。

平成 年 月 日提出

〒 -

(事業主) 事業所所在地

事業所名称

事業主氏名 印

電 話 (局) 番

上記のとおり届出します。

年金事務所長 あて

平成 年 月 日提出

〒 -

(申出人) 住所

氏名 印

電 話 (局) 番

【届出の対象者】

この届書は、養育期間標準報酬月額特例措置の申出に係る子が死亡した場合又は申出に係る子を養育しなくなった場合に、提出してください。ただし、子が死亡したとき又は子を養育しなくなったときに、それより前に次のいずれかに該当していた場合は、この届書を提出する必要はありません。

- ① 申出に係る子が3歳に達していた場合
- ② 会社を退職したなど、厚生年金保険の被保険者資格を喪失していた場合
- ③ 申出に係る子以外の子について、養育期間標準報酬月額特例措置を受けている場合
- ④ 保険料徴収の特例を受ける育児休業等を開始していた場合

【記入の方法】

1. ③の年号は、該当する数字を○印で囲んでください。

生年月日は、たとえば昭和60年11月7日の場合は、

明	1		年		月		日
大	3						
昭	⑤	6	0	1	1	0	7
平	7						

のように記入してください。

2. ㊦は、養育する子の生年月日を記入してください。

たとえば、平成21年4月1日生まれの場合は、

			年		月		日
平成		2	1	0	4	0	1

のように記入してください。

3. ⑤養育特例終了年月日は、次のそれぞれの場合に応じて、その日を記入してください。

- ・子が死亡した場合 子が死亡した日
- ・子を養育しなくなった場合 子を養育しなくなった日

4. 事業主の押印については、署名（自筆）の場合は省略できます。

また、申出者の押印についても、署名（自筆）の場合は省略できます。